

園づくりのことはカード

保育をつなぐミドルリーダーの秘訣



CreativeShift

園づくりのことはカード
Ver 1.0 2019年8月発行

【カードセットに含まれるもの】
表紙/パターンリスト(1枚)/パターン・カード(27枚)
実践レベルカード(3枚)/取り入れたいカード(1枚)
取り扱い説明書(本紙)

【カード制作・販売】
株式会社クリエイティブシフト
<http://creativeshift.co.jp>

【コンテンツ制作】
井庭 崇, 秋田 喜代美
野澤 祥子, 天野 美和子, 宮田 まり子

イラスト: 野崎 琴未, 宗像 このみ
新田 莉生, 佐野 ちあき, 井庭 崇



東京大学 大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター(cedep)と慶應義塾大学 井庭研究室の共同研究として制作されました。

園づくりのことはとは

「園づくりのことは」は、幼稚園や保育園、認定こども園等の主任保育者や副園長などの「ミドルリーダー」に焦点を当て、その実践の知恵を27枚のカードにまとめたものです。

ミドルリーダーは、園の職員が保育に関わり、互いに交流しながら成長していく環境をどのようにつくっていくのかについて、多様な人々と関わりながら、日々考え、実践をしています。しかし、その仕事の範囲は広くあいまいで、外からは見えにくいものも多く、整理して把握したり、他の人と語り合ったりすることは、なかなかできません。

本カードは、そのミドルリーダーの仕事について考え、話し、より上手に実践できるようにするためのツールです。

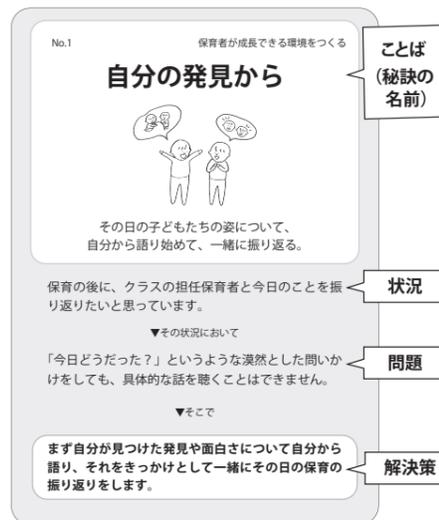
各カードの内容は、質の良い実践をしているミドルリーダーたちへのインタビューを元につくられています。日々考え、実践している様々な工夫や具体的な行動をお聞きし、分類や整理をしていくことで、その知恵を目に見えるかたちにまとめました。

27の知恵がありますが、必ずしもすべてやらなければならないわけではありません。自分と重ね合わせ、「これはやってみたいな」「もっと知りたいな」と思うものを見つけ、その内容を日々の行動に取り入れてみたり、誰かと話したりしてみてください。そのような個人的な使い方以外にも、園内外の研修等で、ミドルリーダー同士で話しあう際にお使いいただき、様々な学びが生まれていくことを願っています。

*カードの内容は、書籍『園づくりのことは: 保育をつなぐミドルリーダーの秘訣』(井庭 崇, 秋田 喜代美 編著, 野澤 祥子, 天野 美和子, 宮田 まり子 著, 丸善出版, 2019年)に準拠しています。各カードのより詳しい内容を知りたい方は、書籍をご参照ください。

カードの見方

園づくりのことは、「パターン・ランゲージ」という方法で記述しています。パターン・ランゲージは、良いデザインや良い実践のコツを共有するための方法です。ある領域の「上手な人」から工夫や経験則を抽出し、言語化することで、その知を他の人が取り入れられるようになっており、ある一定の形式で書かれています。



1枚のカードには、ひとつのコツが書かれています(よい「型」という意味で、このコツを「パターン」と呼びます)。「パターン」には、パターン名と言われる「名前」がついていますので、内容を読んで気に入ったら、そのパターン名を覚えて、保育について考える時や会話の中で使ってみてください。どのパターンも、ある「状況」で起こってしまいやすい「問題」と、それを乗り越えるための「解決策」という3つの部分でコツが説明されています。解決策は、やや抽象的になっていますので、自分の状況や個性に合わせて、具体的なやり方を考え、試してみてください。

園づくりのことは一覧

保育者が成長できる環境をつくる

1. 自分の発見から
2. 見通しのひとこと
3. やる気がでる手助け
4. 日頃のおしゃべり
5. ひと呼吸おく
6. がんばりへのリスペクト
7. 楽しむきっかけ
8. 学びへの変換
9. 原則に立ち戻る

人をつなぐことで子どもが育つ場をつくる

10. あいだの通訳
11. 声のすくい上げ
12. みんなで育てる
13. 経験のミックス
14. 会話が生まれるしかけ
15. 根底の思い
16. 意義の共有
17. 信頼の橋渡し
18. とともに育てるパートナー

保育についての既成概念をつくりかえていく

19. ワクワクの素材
20. 魅力的な実践見学
21. 新たな試み
22. より大きな意味での保育
23. 子どもたちとの時間
24. 充電タイム
25. 園を超えた交流
26. 強みの芽
27. 未来のリーダー



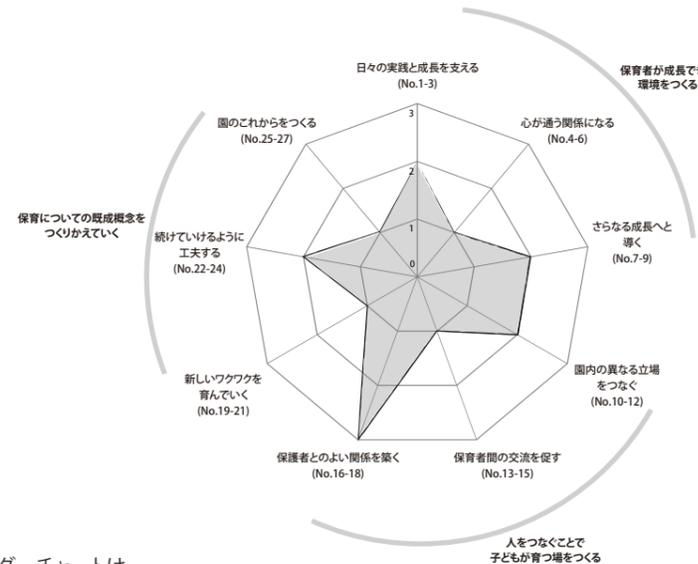
カードの使い方(例)

I. 経験や工夫を話し合い、学び合う

- ①ミドルリーダー同士3～6人程度でテーブルを囲んで座り、パターン・カード27枚を用意します。
- ②誰かがトランプを切る要領でシャッフルし、1人あたり4～5枚を配ります。残りのカードは裏面が上になるように、テーブルの真ん中に置きます。
- ③参加者は配られたカードを手を持って、その内容をざっと黙読し、手持ちのカードのなかから自分に経験があるものを選んで、1人ずつ順にその内容をみんなに見せながら、自分の経験談や実践例を語ります。
※手持ちのカードのなかに経験したことがあるものがなくなった場合には、テーブルの残りの山から1枚引いて、補充してください。
- ④2～3周したら、あまり実践していないカードが手元に残っているはず。今度は、手元に残ったもののなかで、自分が取り入れてみたい、他の人に聞いてみたいカードを選んで、それを実践したことがある人がいるかどうか聞いてみましょう。

II. 現状を把握し、アイデアを出し合う

- ①同じ園内の職員で集まり、27枚のパターン・カードと、3色(緑・水色・ピンク)の実践レベルカードと黄色の「取り入れたいカード」を用意します。
- ②まず、3色の実践レベルカードを、少し離してテーブルに置きます。次に、パターン・カードを1枚ずつ読みながら、内容を実践しているかを考え、該当する実践レベルのカードのまわりに分類していきます。
- ③次に黄色の「取り入れたい」カードをテーブルに置きます。②で「少し実践している」「実践していない」に分類したカードのなかから、今後、自分たちの園で実践していきたいものを「取り入れたい」カードの方へ移動します。
- ④参加者で「取り入れたい」カードのなかから1～数枚決め、ブレインストーミングの要領で、どのように実践できるかどどんアイデアを出し合います。でてきたアイデアをひとつずつ付箋に書いていくと良いでしょう。



表とレーダーチャートは <http://creativeshift.co.jp/download/endukuri-list> にて、ダウンロードしてください。

カードの使い方(例2)

- 自分(たち)の「園づくりのことば」の実践の現状にどのような傾向があるかを捉え、その理由を考えたり、今後伸ばしたい方向性を見つけたりしましょう。

- ①カードを読んで、日頃実践しているものは、「実践チェック」欄に○をつけます。
- ②グループごとに○の数を足して、「グループの合計ポイント」欄に数字を書きます。
- ③グループごとの点数を元に、左下のレーダーチャートを作成し、傾向を読み解きます。

カテゴリー	グループ	園づくりのことば	実践チェック ○	グループの合計ポイント 0～3
保育者が成長できる環境をつくる	日々の実践と成長を支える	1. 自分の発見から		
		2. 見通しのひとこと		
		3. やる気がでる手助け		
	心が通う関係になる	4. 日頃のおしゃべり		
		5. ひと呼吸おく		
		6. がんばりへのリスペクト		
	さらなる成長へと導く	7. 楽しむきっかけ		
		8. 学びへの変換		
		9. 原則に立ち戻る		
人をつなぐことで子どもが育つ場をつくる	園内の異なる立場をつなぐ	10. あいだの通訳		
		11. 声のすくい上げ		
		12. みんなで育てる		
	保育者間の交流を促す	13. 経験のミックス		
		14. 会話が生まれるしかけ		
		15. 根底の思い		
	保護者とのよい関係を築く	16. 意義の共有		
		17. 信頼の橋渡し		
		18. ともに育てるパートナー		
	保育についての既成概念をつくりかえていく	新しいワクワクを育てていく	19. ワクワクの素材	
			20. 魅力的な実践見学	
			21. 新たな試み	
		続けていけるように工夫する	22. より大きな意味での保育	
			23. 子どもたちとの時間	
			24. 充電タイム	
	園のこれからをつくる	25. 園を超えた交流		
		26. 強みの芽		
		27. 未来のリーダー		